



清水 大粋 議員

森林・流域環境を意識した総合施策と支援について

問

森林組合に限定している補助対象事業について、森林整備を行う企業・事業体を広く支援できるように改正すべきではないか

答

今後、市内で意欲的に取り組む林業事業者の方々との意見交換を通じて二一ズの把握に努め、それを踏まえた上で必要性を検討します

気候変動時代に対応した、

持続可能な森林・河川・琵琶湖一体の流域環境及び地域づくりを官民一体となって進める必要があると捉え、その整備等を担う林業関係事業者の育成及び漁業施策は重要と考えることから、以下、問う。

問

高島市林業振興事業補助金交付要綱で森林組合に限定している補助対象事業について、継続的に森林整備を行う企業・事業体を広く支援できるように改正すべきと考えるがどうか。

答 農林水産部長

今後、市内で意欲的に取り

組む林業事業者の方々との意見交換を進めさせていただく中で、二一ズの把握に努めたいと考えており、補助金交付要綱の改正についてはそれを踏まえた上で必要性を検討します。

問

小規模林業事業者にとって策定ハードルの高い森林経営計画の策定支援体制の構築あるいは補助金の創設は必要と考えるがどうか。

答 農林水産部長

県の森林整備事務所の林業普及指導員などへの相談体制の構築については県に働きかけていくことにしており、補

助金の創設を含めた支援についてはこれを踏まえ必要性を検討することになっています。

問

カワウによる漁業被害に関し、カワウの広域移動特性を鑑み県内市町への支援拡充及び国・関西広域連合等との広域連携強化を県に要望してはどうか。

答 農林水産部長

本市単独事業では効果が限定的になるため、国や関西広域連合とも連携した広域的な対策の強化や市町への支援拡充について、県に対して要望活動を行っていきます。

問

カワウの個体数調整施策の加速は必要と考えるが、今後の施策展開は。

答 農林水産部長

個体数の削減に向けた取り組みは継続的に進めていかなければならないと考えています。なお、知見や技術力といった、これまで県が蓄積してきたノウハウについて、県に協力を求めていると考えています。

その他の質問

マキノピックランド駐車料金徴収及び将来運営方針について